

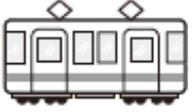
3歳児クラス 1月 第1回 「せんろはつづく」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> ・保：車掌帽を被り絵本を持って「♪線路は続くよどこまでも」の歌を歌いながら登場。「今日のお話はこちらです」と絵本を渡す。 ・講：表紙を見ながら汽車の話で興味を引き、お話へと繋げる。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 変装用(車掌)帽子 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「〇〇(山・川・道・池)があったどうする？」と問いかける場面では、子ども達にも考えさせ、次のページをめくるとは「ジャン」などと正解を伝える様に読み進めるとワクワク感が増す。 ②列車が走る場面では、文字にはない歌や擬音を取り入れながら楽しくリズムカルにお話を読み進める。 ③最後のページは「このあと汽車はどこに行くのかな…」と言った様な余韻を残しながらお話を終える。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> ・車掌帽を被って絵本を提示する ・子ども達と一緒に絵本を楽しむ 	

がくしゅうタイム

活動①	制作	30cm以上の直線をはさみで切り、セロテープでつなげて線路を完成することができる	
設問	線路カードをはさみで切って長く繋げて線路を完成させましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「線路を長く繋げて楽しそうだったね！先生も電車を走らせたいな」 ・保：電車カードを持ち「♪線路は続くよどこまでも」の歌を歌いながら再び登場。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「やったー！電車だ！！」と電車カードを受け取る。「あれ？でも電車はどこを走るんだっけ？」線路が必要な事を子ども達から引き出す。 ・保：「線路ならありますよ！はいどうぞ」と線路カードを提示し講師に渡す。 ・講：「ありがとう」と線路カードを受け取り線路の上を嬉しそうに走らせる。「でも、なんだか短いね。どうしたら良い？」と、真ん中の線を切り、繋げれば良いことを子ども達に気づかせる。はさみ、セロテープを準備。見本を見せる。 ①真ん中の直線をはさみで切る ※30cm近い直線を上手に切るポイントは紙を持つ手をはさみの進みに合わせてキーワード「持ち替えて」と言いながら細かに動かしていくこと。強調してしっかり見せる。 ②切ってできた2枚の線路を長くなるようにテープで止めつなげる。(縦止め) 以上の制作見本の後、電車を走らせるところまでの見本を見せる。「みんなも電車を走らせたい？」と子ども達の意欲を高めてから線路カードを配布する。 ・保：はさみを配布。 ・子：この後の電車遊びに期待を持って、線路カードを切り、テープで止めていく。 ・講保：子どもの進行の状態を見て、各机にセロテープ台を配備。(テープは適量を切って渡しても良い。また線路が長くなるため状況によっては子どものテープ貼りは活動②の最初で行っても良い) ・講：線路を持ち上げ「最後まで頑張ったね」と完成を称賛。 このままく活動②>へと進む。 		<ul style="list-style-type: none"> 線路カード 1人1枚 電車カード(両面テープ付、講師提示のみ) ※配布分を含めて予め立体になるように両面テープでとめておく ★はさみ ★セロテープ
			<ul style="list-style-type: none"> ・電車カード提示 ・線路カード提示 ・線路カード配布 ・はさみ配布 ・セロテープ台配備 ・必要に応じて制作補助(はさみで切る、セロテープで貼る) ・称賛 ・活動②に向けて環境を整える
活動②	生活	友だちと線路を長くつなげて電車ごっこを楽しむことができる	
設問	みんなの線路に電車を走らせて楽しく遊びましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「みんなの線路も長くつなげて電車を走らせてみようか」と提案。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ※保育室の状況に合わせて床フォーメーション又は机上で線路が繋がるように環境を整える ・講：子ども達を集め全員の線路をテープで繋げることを説明し、子ども達と一緒に完成させていく。この時のテープは講師・保育士が適量を切って渡し貼らせて良い。また床フォーメーションの時は途中線路が動かないように床にテープで止め固定していくと良い。線路が繋がれたところでトンネルを提示。「どこにトンネル置こうかな」などと話しながら注目させて線路を完成させ「これで電車を走ら 		<ul style="list-style-type: none"> 活動①で完成させた線路カード 線路カード予備 1コマ10枚 電車カード(両面テープ付き) 1人1枚 皿、おはじき ※子どもに配布分は予め「4

<p>せることできるね」と称賛。「でもみんなの電車が無いね」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保：「みんなの電車、ありますよ」と電車提示。「今日はおはじき『5個』と交換です。」 ・講：おはじき提示。子ども達と一緒に数えながら掌におはじき（4個）を乗せて行く「あれ？全部で4個…足りないね…いくつ足りない？」と問いかけ「4の次は5。その後1つで5」と「1つ足りない」ことを確認してから、予備の皿に入ったおはじきから1つ取り、おはじきを「5個」にする見本を見せる。 	<p>個」ずつ皿に入れておく トンネルカード（両面テープ付） 1コマ3枚 ※予め両面テープで止め、立体しておく ★セロテープ</p>
<p>数にチャレンジ・子：講師見本同様、お皿に入ったおはじき「4個」を数え、予備皿から「1つ」足して「5個」を確認。電車と交換する。 ※チャレンジ課題です。難易度が高いと感じたら全員一緒に「いくつある？」「いくつ足りない？（あといくつあれば5？）」「1つ足して5になるかな？」と誘導しながら行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講：フォーメーションを整え、電車を走らせる方向を決めるなど、クラスの状態に応じた遊びのルールを伝え電車を配布して電車ごっこをスタートさせる。 ・子：講師との約束を守って電車ごっこを楽しむ。 ・講保：安全に配慮して活動を進行する。全体の様子を見ながら「カンカン踏切です」と電車を止めたり「乗せてください」と駅で待つ人になって演出するなど盛り上げる。 ・保：エレピやCDなどのBGMで活動を盛り上げる。 ・講：状況を見て終了の合図。「電車は車庫に入ります！」と電車を集め、線路は「工事です」と言いながら回収。「楽しかったねー！」と達成感を持って終了する。 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車提示 ・環境を整え線路をテープで止める ・安全への配慮 ・子どもの一員となってごっこ遊びを一緒に楽しみ盛り上げる ・電車、線路の回収

数チャレ	数	おはじき「5個」にして電車と交換することができる	教材
設問	お皿の中のおはじきを「5個」にして電車と交換しましょう		
活動内容	※＜活動②＞の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
	新年のあいさつをきちんと行う
シアター	子ども達を巻き込みながら読むことが出来たか
活動① 制作	はさみ、セロハンテープの使い方の指導を的確に行えたか
活動② 生活	ごっこ遊びを通して、集団を意識させることが出来たか
数チャレ	4に1加えて5になることの指導を分かりやすく行えたか

楽習タイム♪

*** テーマ・制作 ***

電車ごっこ

- 今回＜学習タイム＞で作った線路を応用して、電車ごっこに発展させて遊んでみましょう。
- 「線路をもっと長くしたい」「ここに〇〇があつたらいいな」など子どもからの意見が聞かれたら、紙などの材料を準備して「どうしようか」と一緒に考えてあげると制作への意欲が高まります。



線路作って
もっと長く
しようかな!

はさみやテープなどの道具は常に使うことで技術力がアップします。保育園・家庭問わず自分で作る楽しい活動を積極的に取り入れていきましょう。

今月のえかきリズム

*** おでん ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

